みずほCustomer Desk Report 2022/05/06 号(As of 2022/05/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	130.09	1.0510	136.74	1.2500	0.7052
SYD-NY High	130.28	1.0578	137.36	1.2566	0.7148
SYD-NY Low	129.70	1.0493	136.59	1.2472	0.7048
NY 5:00 PM	130.13	1.0519	136.98	1.2496	0.7096

NY DOW	33,128.79	67.29	日本2年債	-	-
NASDAQ	12,563.76	27.74	日本10年債	-	-
S&P	4,175.48	20.10	米国2年債	2.7834	5.33bp
日経平均	-	-	米国5年債	3.0252	2.33bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.9781	0.23bp
ｼｶｺﾞ日経先物	27,095	200	独10年債	0.9525	▲0.75bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,561.33	16.78	英10年債	1.9565	5.30bp
DAX	14,039.47	100.40	豪10年債	3.3040	5.00bp
ﾊﾝｾﾝ指数	21,101.89	12.50	USDJPY 1M Vol	12.04	▲0.11%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.75	0.05%
NY金	1,870.60	7.00	USDJPY 6M Vol	11.08	0.05%
WTI	102.41	▲ 2.76	USDJPY 1M 25RR	0.23	*Yen Put Over*
CRB指数	306.78	▲ 2.38	EURJPY 3M Vol	12.03	▲0.05%
ドルインデックス	103.47	▲0.28	EURJPY 6M Vol	11.65	0.06%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は130.09ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日本休日となる中、ﾄﾞﾙ円は朝方小幅に上昇したもののすぐに反落。しかし、日中安値の129.86をつけた後は下げ渋りもみ合い推移。本日開催されたRBA会合で市場予想を上回る利上げが決定されると、ﾍｯﾄﾞﾗｲﾝに反応して豪ﾄﾞﾙが上昇。ﾄﾞﾙ円もつれ高となる場面があったが、日本休日で流動性が薄いことに加え、FOMCを目前に控える中、値幅は限定的となり130.16ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は130.16ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は手掛かり材料難で同ﾚﾍﾞﾙを挟んで横ばい。日本大型休みで流動性が低下しているからか、正午前に130円を割り込むと129.92付近まで下落し129.90ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

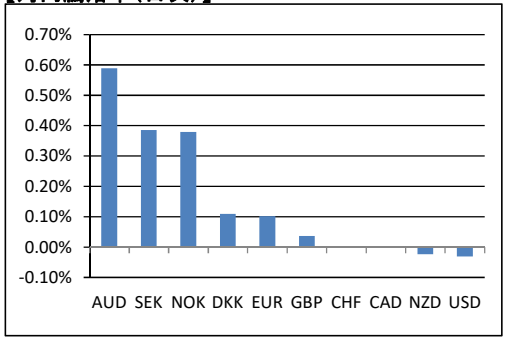
ニューヨーク

ﾆｭｰﾖｰｸ時間のﾄﾞﾙ円は129.90ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は債券市場で買いが先行し、米金利が低下する動きに129.70まで下落する。10時に発表された米3月耐久財受注(確報値)、3月製造業受注、JOLT求人すべて予想を上回る結果となり、130.03まで戻す。その後は短期金利が上昇に転じる中、130.20まで戻し、終盤に掛けては明日のFOMC結果発表を控え、閑散な推移が続き、130.13ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0540ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、ﾄﾞﾙ売りの流れを引き継ぎ1.0578まで戻す。その後ﾗｶﾞﾙﾄﾞECB総裁の「ECBは金融政策の適切な伝達を確実にしたい」との発言が伝わるが特段のﾕｰﾛﾄﾞﾙの反応は見あたらないものの、徐々に米短期金利が上昇する動きを受けﾕｰﾛの利益確定の売りが持ち込まれ、1.0512まで反落する。午後はｼｭﾅｰﾍﾞﾙECB専務理事が、「資産購入は利上げ前に終了させ、恐らく6月に終了し、7月に利上げが可能。」と話したものの、明日のFOMC結果発表を控え、狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.0519ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

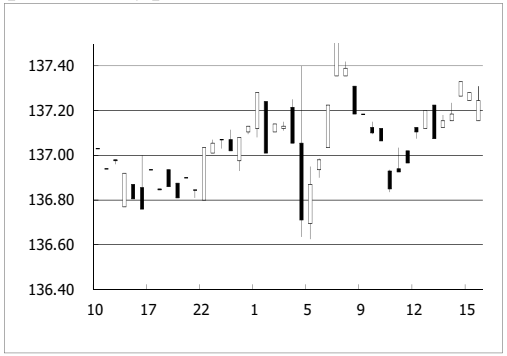
担当:逸見

【ドル円相場】

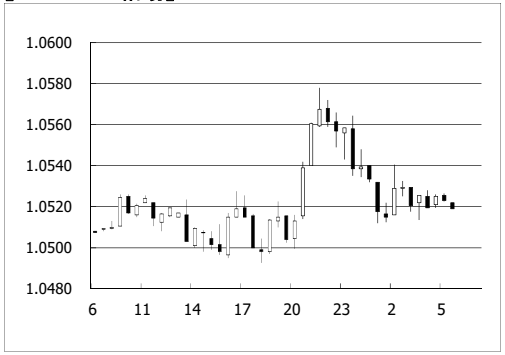
【対円騰落率(日次)】



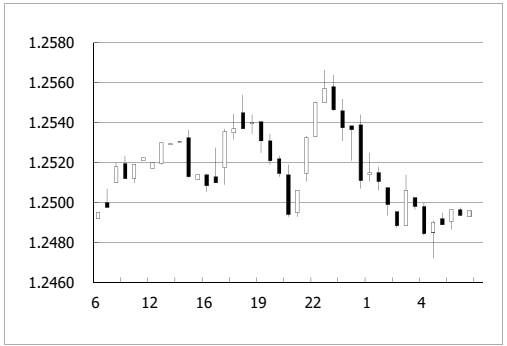
【ユーロ円相場】



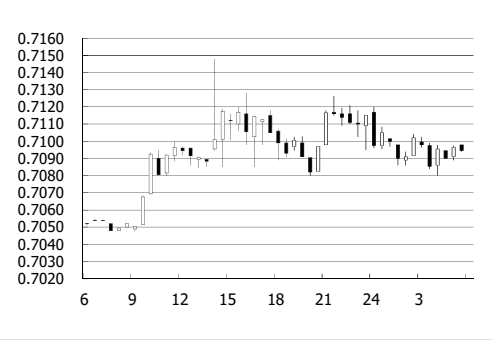
【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに